



1 2026年9月期第3四半期業績

2 カンパニー・ハイライト

1 2026年9月期第3四半期業績

2 カンパニー・ハイライト

決算ハイライト

財務サマリー



業績サマリー

- フォトウエディングサービスにおいて、**撮影件数、撮影単価ともに前年同期を上回り**、アニバーサリーフォトサービスにおいても増収となった結果、売上収益は**49.9億円と前期比+7.3%となり、第3四半期累計として過去最高売上を更新**
- 集客費用の増加や株式会社エミュ・株式会社エミュLabの子会社化に伴う費用が発生したものの、増収に加え、不採算店舗の閉店や人員体制の整備等による各種費用の抑制により利益率が改善、営業利益は**7.0億円と前期比+58.7%の増益**となった

注: 当第3四半期累計期間において、スタジオエミュ及びスタジオエミュLabは貸借対照表のみを連結の対象としており、損益計算書は連結の対象外としております。

2026年9月期第3四半期 連結包括利益計算書(IFRS)

- 売上収益は**フォトウェディング、アニバーサリーフォトともに増収**
- 集客費用の増加に加え、株式会社エミュ・株式会社エミュLabの子会社化関連費用が発生するも、増収に加え各種費用の抑制により**利益率が改善、営業利益・当期利益ともに増益**
- **スタジオエミュにおける新店出店の初期費用の発生や、第4四半期における酷暑の業績影響を鑑み、通期業績予想は現時点で据え置き**

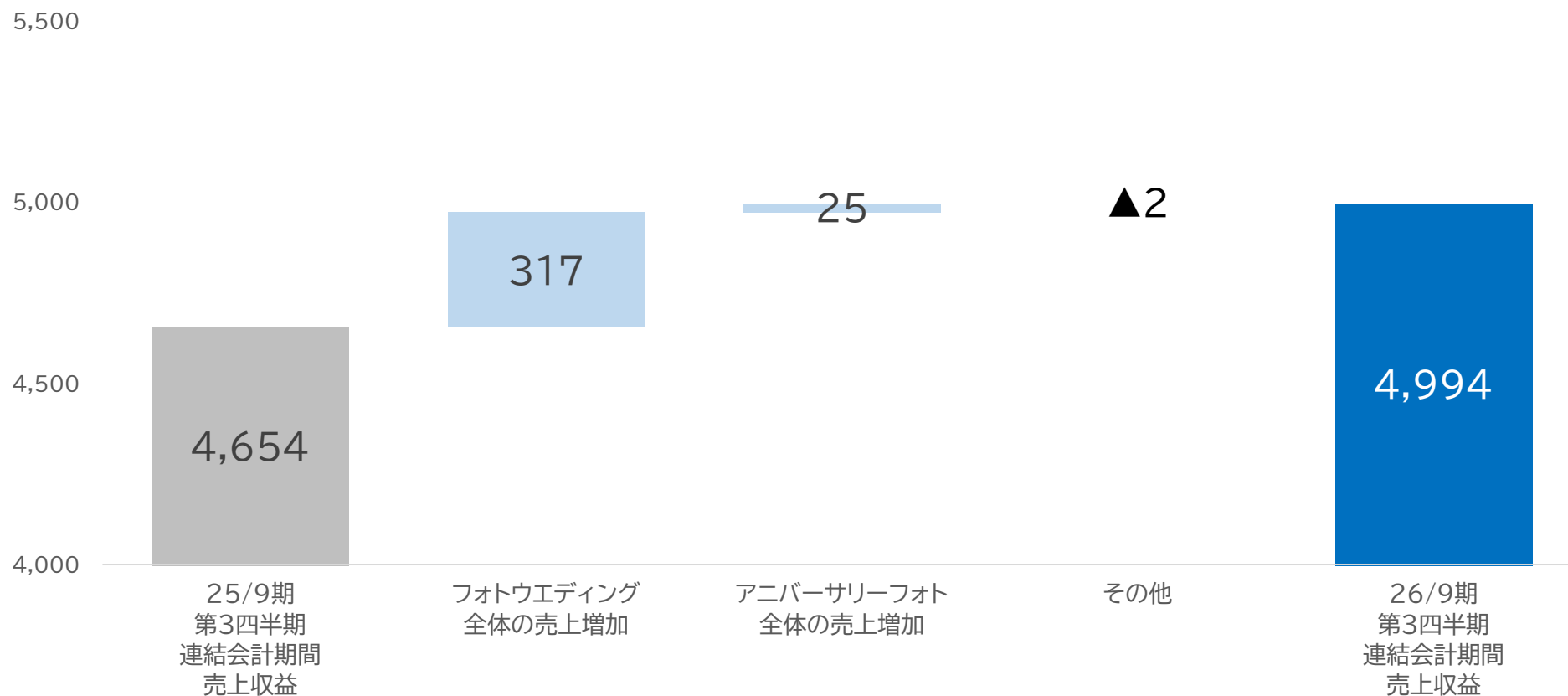
	26/9期 第3四半期 連結累計期間	25/9期 第3四半期 連結累計期間	前期比	26/9期 通期業績予想
(単位:百万円)				
売上収益	4,994	4,654	7.3%	6,481
売上総利益	2,039	1,694	20.4%	2,247
売上総利益率	40.8%	36.4%	4.4pt	34.7%
営業利益	707	445	58.7%	454
営業利益率	14.2%	9.6%	4.6pt	7.0%
当期利益	382	242	57.6%	239
当期利益率	7.7%	5.2%	2.4pt	3.7%

注: 当第3四半期累計期間において、スタジオエミュ及びスタジオエミュLabは貸借対照表のみを連結の対象としており、損益計算書は連結の対象外としております。

売上収益の変動要素分析(前期比)

- 当第2四半期連結累計期間の売上収益は**49.9億円(前期比+7.3%)**
- フォトウェディングサービスは7.2%の増収、**アニバーサリーフォトサービスは店舗数減少にもかかわらず10.8%の増収**

【単位:百万円】

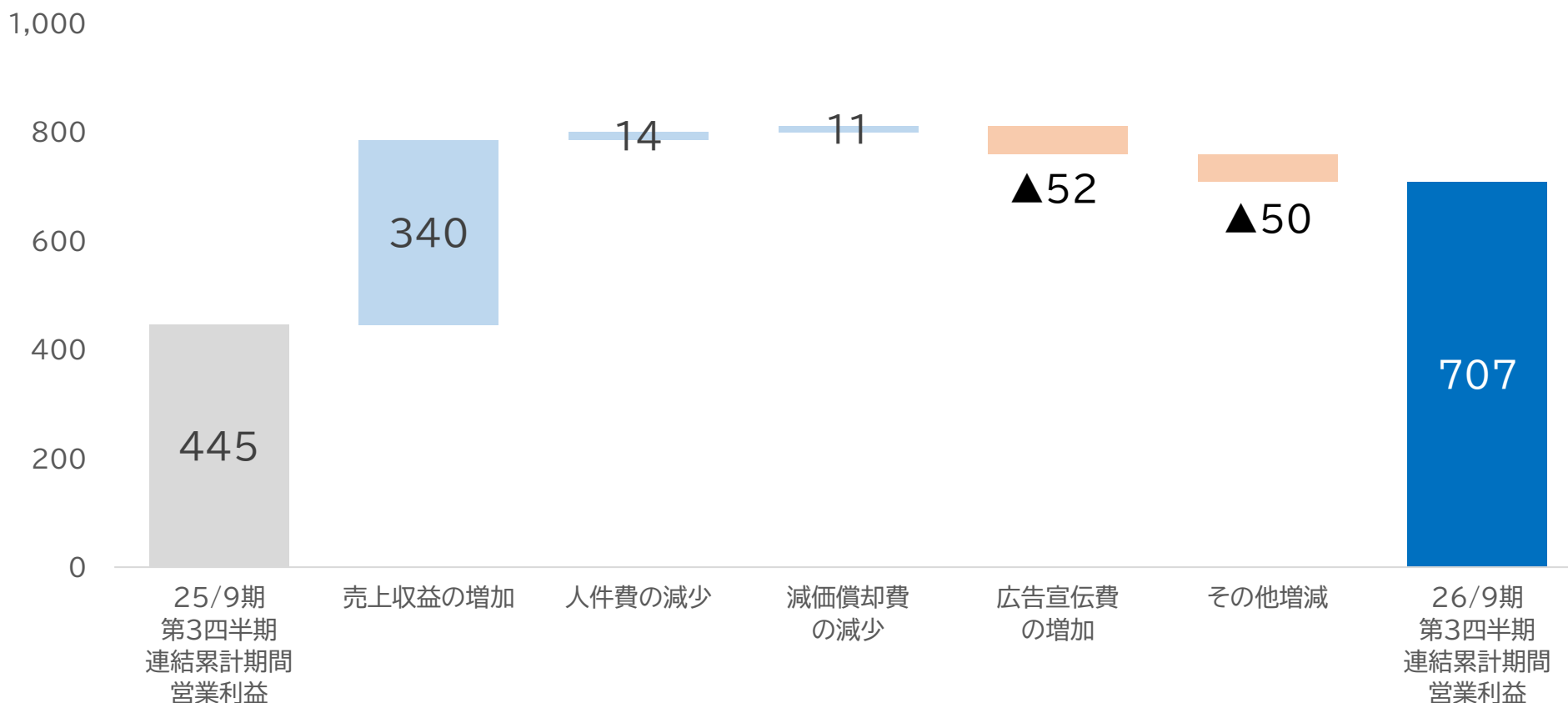


注: 当第3四半期累計期間において、スタジオエミュ及びスタジオエミュLabは貸借対照表のみを連結の対象としており、損益計算書は連結の対象外としております。

営業利益の変動要素分析(前期比)

- 他社送客の拡大による紹介手数料の増加や店舗数増に伴う広告宣伝費の増加に加え、株式会社エミュ、株式会社エミュLabの子会社化に関連する費用が発生したものの、売上収益の増加により、**営業利益は707百万円(前期比+58.7%)**

【単位:百万円】



注: 当第3四半期累計期間において、スタジオエミュ及びスタジオエミュLabは貸借対照表のみを連結の対象としており、損益計算書は連結の対象外としております。

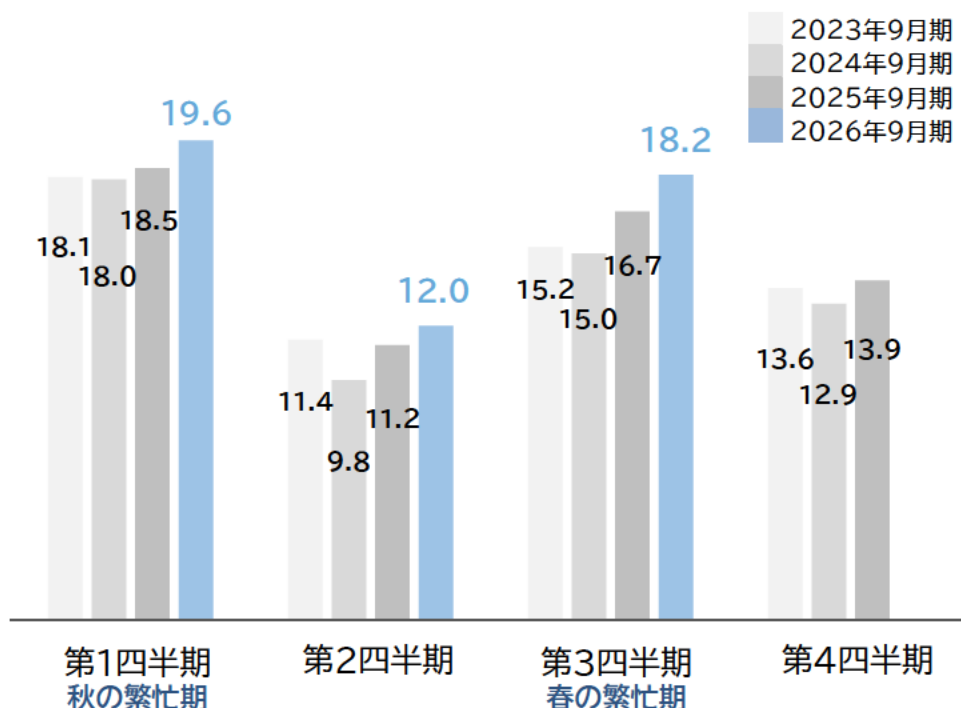
注: 広告宣伝費は他社からの送客手数料を含んで集計しております。

四半期業績推移データ

【単位:億円】

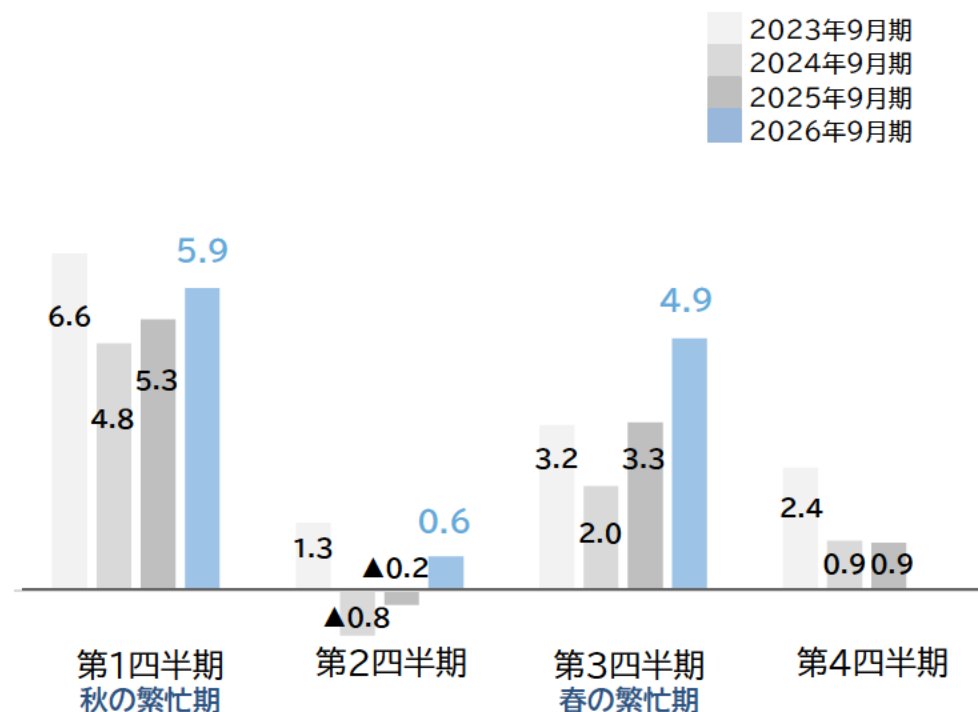
売上収益

春の繁忙期にあたる第3四半期において、店舗数・他社送客の増加に加え、従前からの営業力提案力の底上げなどの取組を通じ、フォトウエディング、アニバーサリーフォトともに売上収益が前年同期を上回り、**18.2億円**と第3四半期の過去最高売上を更新



調整後営業利益

売上収益の拡大に取り組みつつ不採算店舗の閉鎖など効率化を進めた結果、費用の抑制と人員の稼働率向上等により収益構造が改善。**4.9億円**と第3四半期の過去最高利益を更新



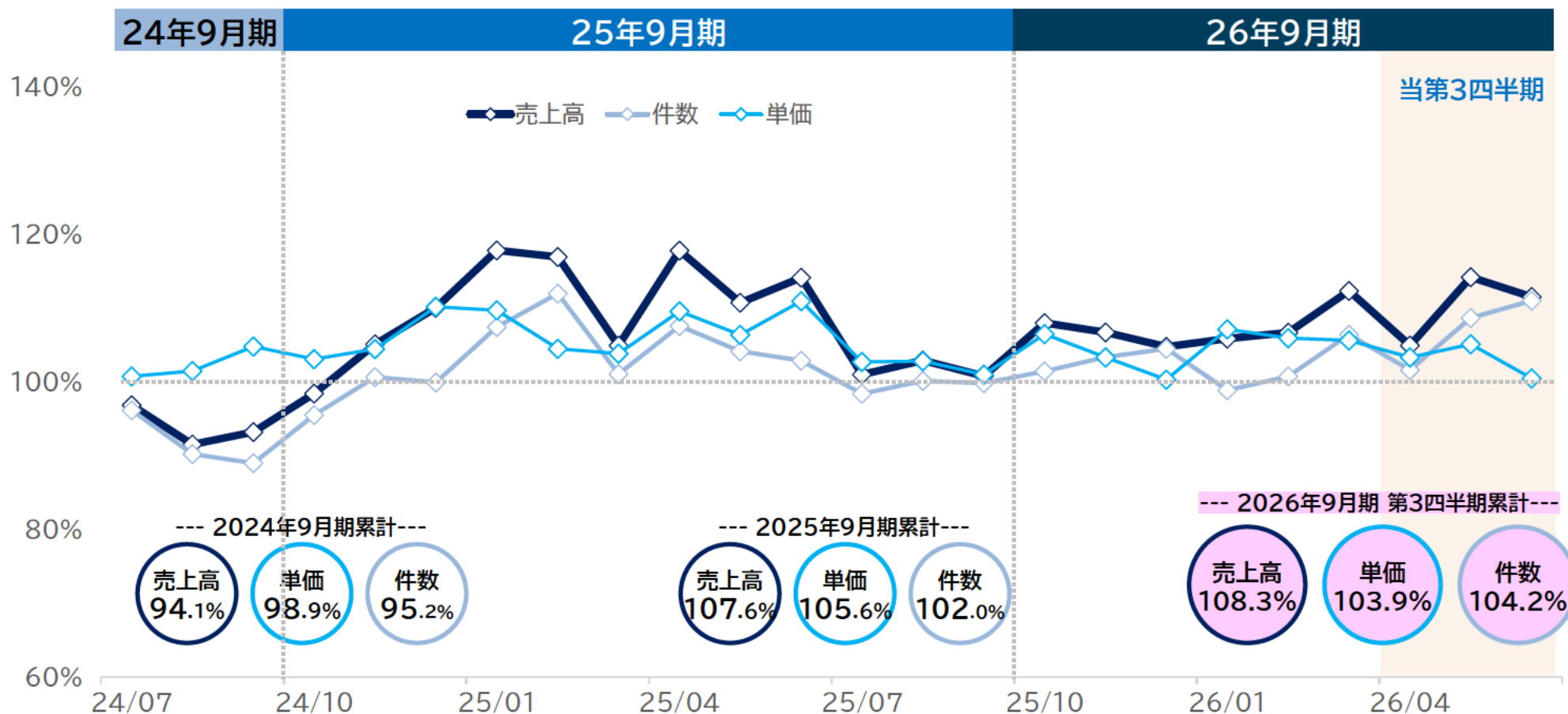
注: 当第3四半期累計期間において、スタジオエミュ及びスタジオエミュLabは貸借対照表のみを連結の対象としており、損益計算書は連結の対象外としております。

注: 調整後営業利益 = 営業利益 + 本社費 + (その他の費用 - その他の収益) / 本社費は財務・管理部等の本社機能に係る費用

KPI(前年比)

当第3四半期は、春の繁忙期に入り、広告宣伝費の効果的な配分や、IBJなど提携先各社からの送客拡大、継続して取り組んだ接客品質改善の効果により撮影件数・客単価とも伸長。両項目とも前期比プラスとなった結果、当第3四半期累計の売上高は前期比+8.3%に。

フォトウェディングサービス全体前年比推移



注:本数値は施行日を基準として計上した数値を前年同期と比較しており、国際会計基準(IFRS)により作成される四半期・本決算数値とは異なります。

連結財政状態計算書

- 株式会社エミュ及び株式会社エミュLabの子会社化により、借入金が4.8億円増加、のれんが3.2億増加
- 株式会社エミュ及び株式会社エミュLabの連結の影響もあり、現金及び現金同等物は4.0億円、営業債権及びその他の債権が3.2億円、有形固定資産が2.2億円増加
- 店舗物件賃借料の支払等により使用権資産とリース負債が減少

【単位:百万円】

	26年6月末	25年9月末	増減		26年6月末	25年9月末	増減
現金及び現金同等物	739	329	409	短期借入金	847	503	344
営業債権及びその他の債権	609	286	323	リース負債	630	613	16
その他	231	193	37	その他	1,624	1,064	560
流動資産合計	1,579	809	769	流動負債合計	3,101	2,181	920
有形固定資産	1,429	1,207	222	借入金	1,807	1,668	139
使用権資産	3,749	3,943	-193	リース負債	2,893	3,098	-205
のれん	5,963	5,635	328	その他	510	392	118
その他	959	726	233	非流動負債合計	5,211	5,159	52
非流動資産合計	12,102	11,513	589	資本合計	5,368	4,982	386
資産合計	13,682	12,322	1,359	負債及び資本合計	13,682	12,322	1,359

注:当第3四半期累計期間において、スタジオエミュ及びスタジオエミュLabは貸借対照表のみを連結の対象としており、損益計算書は連結の対象外としております。

<賃貸借契約等に伴い計上する使用権資産・リース負債について>

IFRS第16号「リース」の適用により、当社が賃借する物件(主に店舗用)の賃借契約を締結すると、将来にわたって支払う予定の賃料総額の割引後キャッシュ・フローの合計額をリース負債として計上し、あわせて当社の「使用権」として使用権資産に計上している。

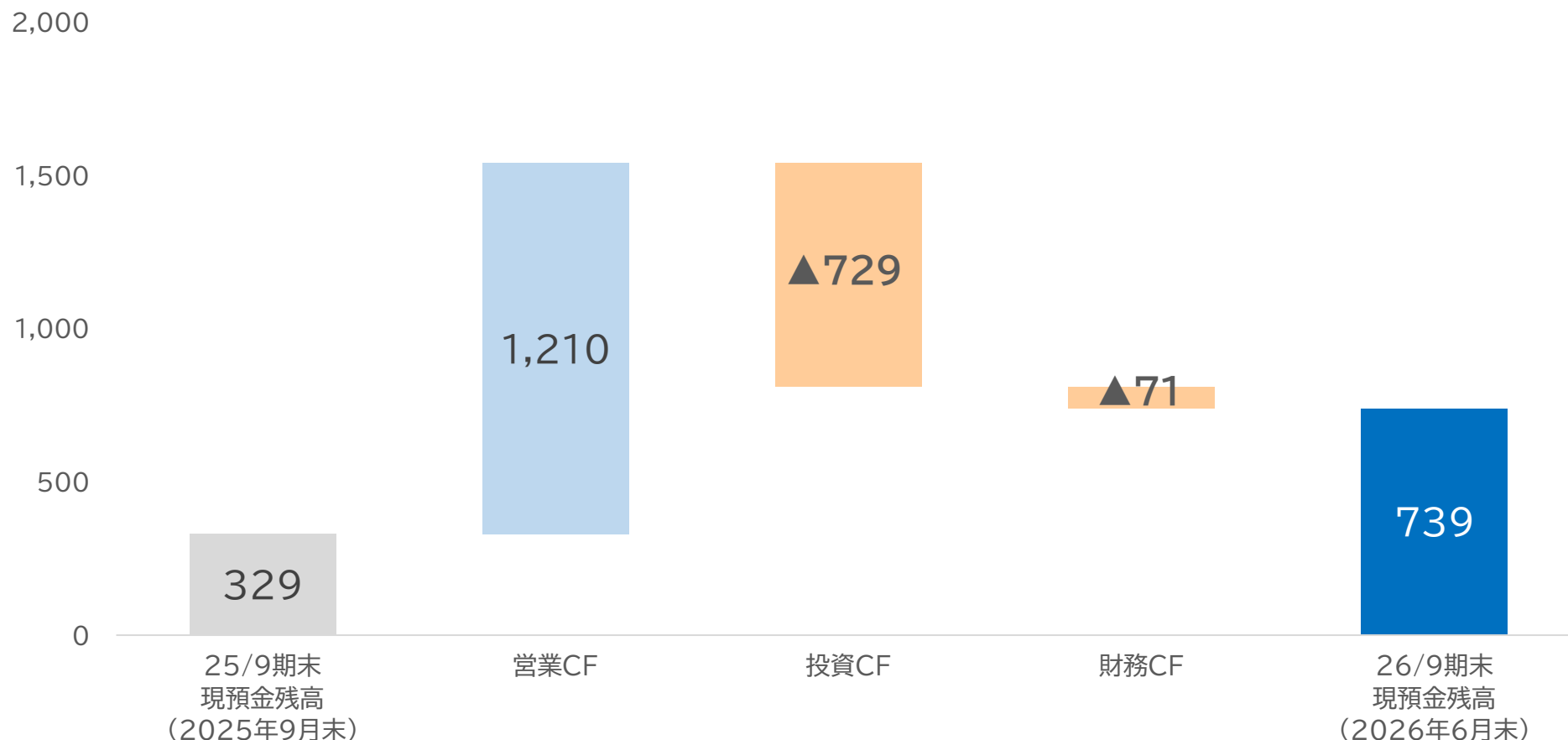
<総資産に占めるのれんの割合が高いことについて>

当社グループはIFRSに基づき連結財政状態計算書を作成しているため現行基準下では当該のれんの償却は不要となりますが、非流動資産にのれんとして5,963百万円を計上しており、総資産に占める割合が43.6%(2026年6月末時点)。2026年9月期連結会計年度末時点における回収可能価額は、のれんが含まれる資金生成単位又はそのグループの資産の帳簿価額を大幅に上回っていることから、減損テストに用いた主要な仮定が合理的な範囲内で変更されたとしても、当該資金生成単位又はそのグループの回収可能額が帳簿価額を下回る可能性は低いと考えています。今後5年間の成長率がゼロであった場合でも回収可能価額がのれんが含まれる資金生成単位又はそのグループの資産の帳簿価額を十分に上回るため、減損の可能性は低いと考えています。

連結キャッシュフロー

営業CFは売上収益、債権債務の増減などにより12.1億円となり、株式会社エミュ及び株式会社エミュLabの子会社化に伴う投資CF▲7.2億円および、財務CF▲0.7億円を吸収し、当期末現預金残高は**4.0億円増加**

【単位:百万円】

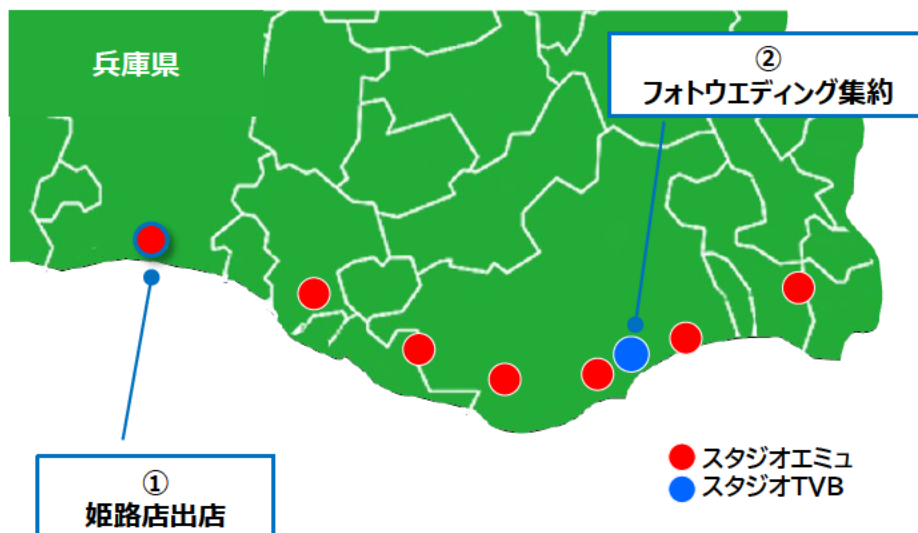


注: 当第3四半期累計期間において、スタジオエミュ及びスタジオエミュLabは貸借対照表のみを連結の対象としており、損益計算書は連結の対象外としております。

事業成長に向けた主な取り組み・トピックス

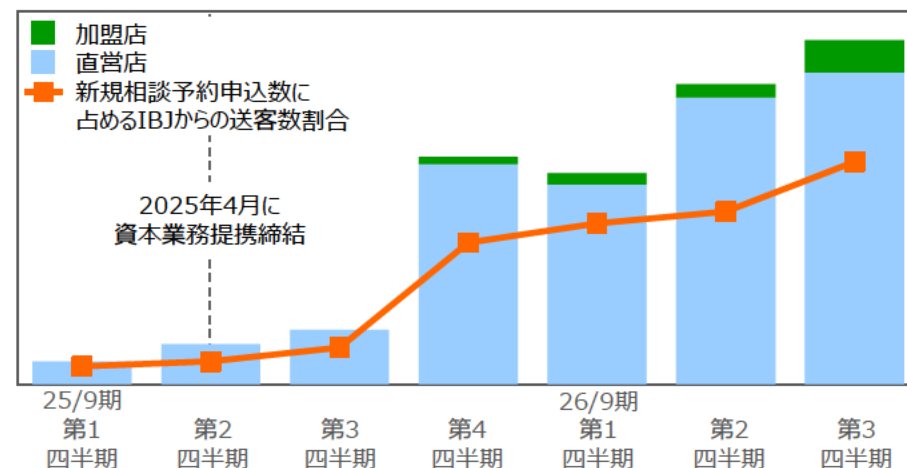
スタジオエミュとのPMI

- ・アニバーサリーフォトサービスのさらなる拡大のため、9月に「スタジオエミュ姫路店」を出店予定。同店舗内にフォトウェディングの接客サロンもオープン、アニバーサリーフォトサービス、フォトウェディングサービスともに兵庫県西部への商圈拡大を図る
- ・スタジオエミュが独自に行ってきたフォトウェディングサービスを当社の展開する「スタジオTVB神戸ハーバーランド店」に集約する方針とし、顧客への案内を開始



IBJからの送客数推移

- ・IBJ加盟店に対して、IBJと連携して当社への送客を促すキャンペーンを実施、加盟店からの送客が増加
- ・当社の新規相談予約申込数に占めるIBJからの送客数割合も継続的に上昇



国際コンテスト『SWPP』

- ・2026年4～6月で当社フォトグラファー7名が受賞
下園啓祐 Wedding部門 Gold Awards 他

1 2026年9月期第3四半期業績

2 カンパニー・ハイライト

会社概要

会社名	株式会社デコルテ・ホールディングス
本社所在地	兵庫県神戸市中央区加納町4丁目4番17号 ニッセイ三宮ビル12階
創業	2001年11月6日(旧株式会社デコルテ設立)
設立	2016年12月13日(旧株式会社CCH6a設立)
代表者	新井 賢二(代表取締役社長)
資本金	155,384,000円(2026年6月末日現在)
従業員数	449名(連結、2026年6月末日現在正社員数) うちフォトグラファー152名 うちメイクアップアーティスト186名
株主(自己株式を除く 発行済株式総数に対 する所有割合) 2026年3月31日現在	株式会社IBJ (50.0%) 平松 裕将 (4.5%) 小林 健一郎 (2.2%) 前田 朋己 (1.7%) 平田 欽也 (1.7%)

沿革

2001年	旧株式会社デコルテ設立 エステティック事業を開始
2002年	リラクゼーション事業を開始
2004年	挙式事業(チャペルウエディング)を開始 エステティック事業を譲渡
2008年	フォトウエディングサービスを開始
2010年	フォトウエディングサービス初の単独店舗を出店
2011年	衣裳レンタル・サービスを開始
2014年	和婚スタイル・サービスを開始
2015年	アニバーサリーフォトサービスを開始
2017年	旧株式会社CCH6aが旧株式会社デコルテを吸収合併、同時に株式会社デコルテに社名変更
2018年	会社分割により当社を持ち株会社とする持ち株会社体制に移行 リラクゼーション事業を譲渡
2020年	株式会社デコルテ・ホールディングスに社名変更、 同時に事業子会社株式会社Decollte Photographyを 株式会社デコルテに社名変更 挙式事業(チャペルウエディング・和婚スタイル・衣裳レンタル)を 事業譲渡
2021年	東京証券取引所マザーズ新規上場
2022年	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所マザーズ 市場からグロース市場に移行
2025年	株式会社IBJによる公開買付を経て、同社の連結子会社化
2026年	株式会社エミュ及び株式会社エミュLabを完全子会社化

サービス概要と売上構成比*1

「Happiness」「Beauty」「Wellness」をテーマとして、お客様の幸福に寄り添いながら写真を通じて様々なライフイベントに思い出作りの場、感動体験を提供

アニバーサリーフォト:5.1%

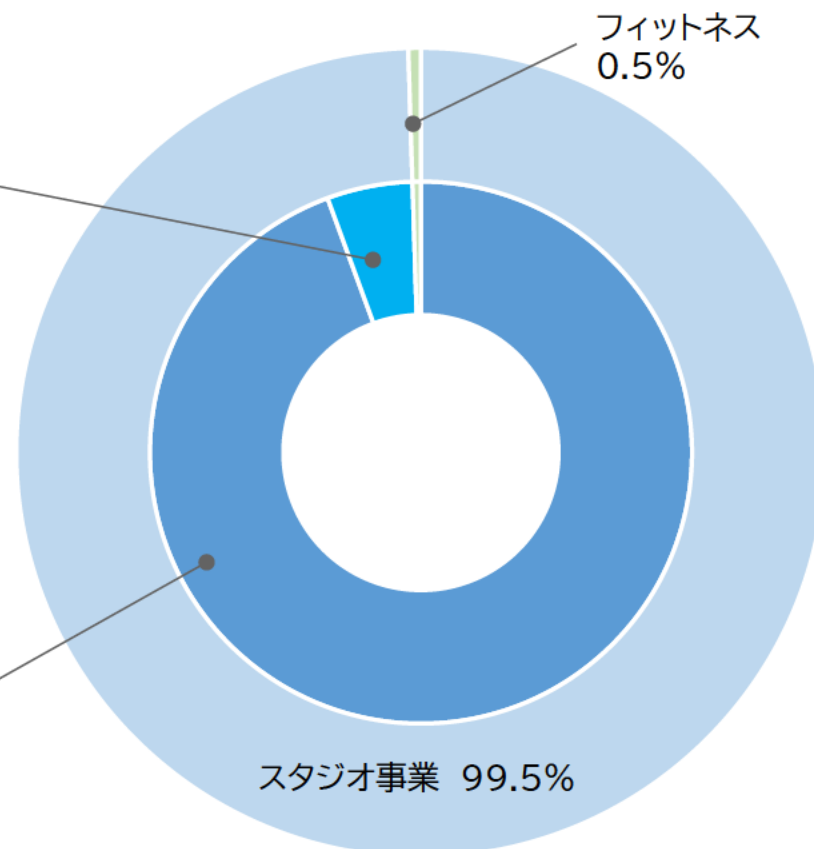


- 大切な記念日に気持ちに寄りそい自然な笑顔を引き出す撮影体験
- 子どもの冒険心がくすぐられる、仕掛けあふれるスタジオ
- プロフェッショナルによるハイクオリティなメイク・衣装・撮影
- スタジオ貸切や小物持ち込みなど希望に合わせ自由度の高い撮影

フォトウエディング:94.4%



- 最先端トレンドを反映した花嫁体験
- 結婚式・披露宴に比べてリーズナブルにウエディング体験が可能
- プロフェッショナルによるメイク・衣装・撮影など、撮影場所や衣装、プランの自由なアレンジ
- ロケーション撮影や衣装グレードアップ／複数着用など、こだわりに応じた豊富なオプションを用意



注1 : 2025年9月期の売上収益構成比を記載

当社サービスの特長

フォトウエディングを主要事業とする**撮影スタジオ専門企業**として、
上場企業では類を見ない**独自のポジショニング**を確立

フォトウエディング撮影組数シェア

*1



No.1

年間撮影組数

*2



2.4万組

フォトグラファー

*3



152人

メイクアップアーティスト

*3



186人

店舗数

*4



37店舗

フォトコンテスト受賞回数・受賞者数

*5



**240回超
40人超**

注1 : 2018年時点の当社シェア(13.4%)。当社のフォトウエディング年間撮影組数÷(ナシ婚の撮影実施組数+挙式あり・専門業者にて撮影実施組数)にて算出

注2 : 2019年9月期時点の当社のフォトウエディング撮影組数とHAPISTAの撮影組数の合計

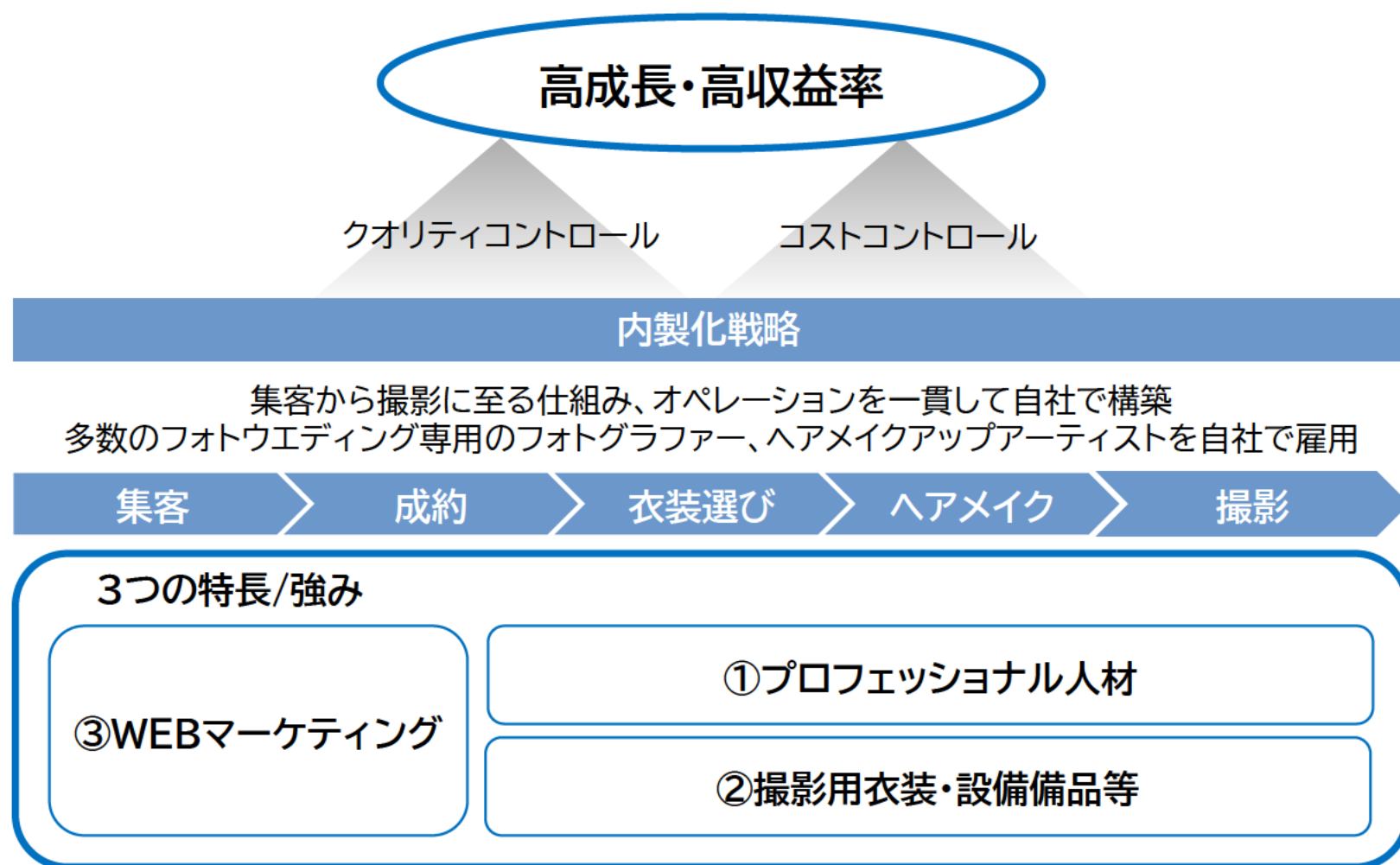
注3 : 2026年6月末時点の各職種の社員数

注4 : 2026年6月末時点の数値。フォトウエディング、アニバーサリーのスタジオの合計

注5 : 2025年9月時点に在籍する社員のうち、WPPI・AWPA・SWPP・WEDISSION・ゼクシィ他各種AWARD受賞歴がある社員の人数

ビジネスモデル 特長/強み

①プロフェッショナル人材、②撮影用衣装・設備備品等、③WEBマーケティングを内製化し、
クオリティとコストを自社でコントロールできる強みを活かし、高成長・高収益率を実現



ビジネスモデル 特長/強み(内製化①プロフェッショナル人材)

独自の教育カリキュラムを有し、長年の積み重ねにより多数のプロフェッショナル人材を内製化、効率的に人員配置を行うことで繁忙期の需要を最大限取り込むことが可能

多数のプロフェッショナル人材確保

確立された教育プログラムにより育成することで
個々の技術力を高水準に維持することが可能

フォトグラファー



152名^{*1}

スタジオ・ロケーション・
人物撮影における
技術を有す

メイクアップ アーティスト



186名^{*1}

洋装 / 和装(着付け) /
ヘアメイクを1人で
こなす技術を有す

フォトコンテスト受賞回数・受賞者数^{*2}

240回超・40人超

注1:2026年6月末時点の人数を記載

注2:2025年9月時点に在籍する社員のうち、WPPI・AWPA・SWPP・WEDISSION・ゼクシイ他各種AWARD受賞歴がある社員の人数

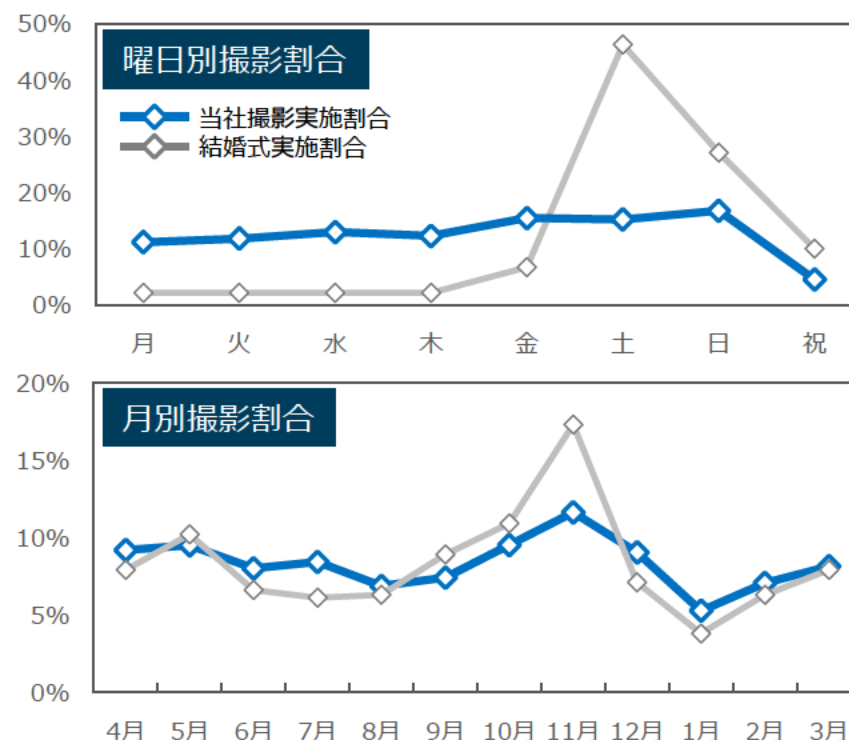
注3:結婚式実施割合=月曜日から木曜日の間で、結婚式を実施した割合は8.5%とのアンケート調査結果により、それぞれの曜日は全体の2.1%の割合にて実施されたと仮定

当社撮影件数は2024年4月～2025年3月の実績より算出

出所:株式会社リクルートマーケティングパートナーズ「ゼクシイ結婚トレンド調査(2020)」

曜日別・月別撮影件数割合^{*3}

結婚式と比べ、季節や曜日による繁閑差が少なく
繁閑に対応する効率的な人員配置が可能



ビジネスモデル 特長/強み(内製化②撮影用衣装・専用スタジオ)

年間2.4万組超の撮影規模を活かし、衣装や専用スタジオを内製化することにより
コスト競争力創出/収益拡大が可能

衣装内製化の強み

コスト競争力

- ・年間2.4万組の規模メリット
- ・自社制作によるマージン排除



流行の反映

- ・トレンド最新作を素早く店舗に導入可能

収益性向上

- ・新作、流行デザインによる付加価値の提供
- ・衣装レンタルという収益源の確保



専用スタジオ・屋内庭園の強み

稼働件数増

- ・ヘアメイク直後撮影可能
- ・ロケ地移動なし



リスク低減

- ・悪天候等の気候に左右されず撮影可能

生産性向上

- ・効率のよいオペレーションが可能
- ・多数実績によるコスト低減



お問い合わせ

本説明資料およびその他IRに関するお問い合わせ先

株式会社デコルテ・ホールディングス IR担当

URL : <https://ir.decollte.co.jp/>

E-mail : ir@decollte.co.jp